

2023年度 活動助成一覧

団体名		活動名	採用活動 (イベント)数
一般社団法人	青森県手をつなぐ育成会	障がいのある方のお金の使い方勉強会	1(3)
一般社団法人	秋田市手をつなぐ育成会	(1)知的障害者の権利擁護事業の支援スタッフ養成セミナー①～⑥ (2)知的障害者の障害年金に関するセミナーの実施 (3)知的障害者保護者会における権利擁護事業に関するセミナーの開催	3(8)
特定非営利活動法人	ASIAN COMMUNITY TAKASHIMADAIRA	団地居住の高齢者、子ども、外国籍住民を対象として金融基礎知識の情報提供を目的とする連続講座	1(3)
特定非営利活動法人	いわきFP・e-らいふ	(1)18歳からのライフプラン！セミナー＆相談会①② (2)シングル・ファイト！セミナー＆相談会①② (3)夢スクール＆相談会	3(5)
一般社団法人	ウーマンライフパートナー	中高年齢のシングル女性が必要なライフプランと終活	1(1)
(任意団体)	お金で学ぶさんすう	特別支援の中高生向け継続的な金融教育カリキュラムの実施検証および研究成果発表	1(14)
(任意団体)	「親なきあと」相談室ネットワーク	「親なきあと」相談室研修会全国大会	1(1)
特定非営利活動法人	暮らしとお金のPro-Lab.	知的に障害がある人たちとその支援者のための金銭教育と金銭管理支援	1(3)
一般社団法人	障害のある子のライフプランサポート協会	障がいのある子と親が幸せに生きるための選択肢を広げる	1(2)
特定非営利活動法人	消費生活相談会の会さが	くらしに役立つ消費生活講座(ネット社会の基本のき)	1(1)
特定非営利活動法人	市民貢献センターはままつ	(1)成年後見制度啓発セミナー「親なきあとと成年後見」 (2)「親なきあと」に備える講座①～③	2(4)
特定非営利活動法人	しょーとてんぱー	知的・発達障害の子ども親のメンタルケア～金銭、制度、事例を学んで気軽に将来に備えよう	1(5)
(任意団体)	G-FRONT関西	性的マイノリティの立場から提唱する新しい福祉の形とは～グラデーション＆インクルージョン～	1(1)
一般社団法人	つながりラボ世田谷	後見制度における意思決定支援	1(6)
公益社団法人	日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談員協会(NACS)	障がい者向けのお金の使い方と消費者問題についての講座①～⑤	1(5)
特定非営利活動法人	パープル・ハンズ	「にじ色ライフプランニング講座」動画作成①②	1(2)
特定非営利活動法人	ピュアコスモ	発達障害のある子どもの金銭管理と暮らし	1(1)
一般社団法人	みえ障害者の親なきあと相談室	(1)オンラインによる障害者の親なきあとテーマ別講演会①～⑥ (2)障害のある子の生活にかかわるお金の使い方・ロールプレーイング	2(7)
(五十音順)		合 計	24(72)

2023年度 金融相談等活動助成事業【活動紹介】

活動実施日	団体名 【活動名】	活動内容及び活動模様
2023年 7月 3日	一般社団法人 つながりラボ世田谷 【後見制度における意思決定支援】	知的障害者の親・支援者向けの勉強会を開催しました。 講座前半は講師から「知的障害のある人の権利擁護」について、国の取り組みと本人の「尊厳」をどう考えるのか18の事例を紹介し、後半は3人の講師による意見交換会を行いました。 普段、後見人として実際に活動している弁護士から支援者側の考えや多くの事例を伺うことができ、また参加者からも多くの質疑があり活発な勉強会となりました。 
2023年 9月29日	一般社団法人 ウーマンライフパートナー 【中高年齢のシングル女性が必要なライフプランと終活】	中高年のシングル女性をターゲットに公的年金の収入から将来必要な貯蓄額を試算し、老後の働き方や終活まで、参加型ワークショップと3人の女性をモデルケースにした老後資金の不足額・解決策を紹介しました。 シングル女性が老後も自分らしく生きるために、キャッシュフロー表の見方から、現状分析～対策と効果まで、わかりやすく説明し、老後資金について考える機会となりました。 

2023年度 金融相談等活動助成事業【活動紹介】

活動実施日	団体名 【活動名】	活動内容及び活動模様
2023年10月 4日	特定非営利活動法人 お金で学ぶさんすう 【特別支援の中高生向け継続的な金融カリキュラムの実施検証】	団体では、知的障がいがあり、就労準備型放課後デイサービスに通う生徒を対象として、高等部卒業後に自立するため、生活に関する金融知識を習得するための取組みを行っています。 一人暮らしで必要となる「食」をテーマに、食事のメニュー(焼きそば)を調理するために必要な食材について、栄養バランス、量、価格(コンビニとスーパーの比較)等を調べて調達先を決定します。 前半は、机上で議論をしながら必要な食材を洗い出し、後半は、近くのコンビニとスーパーに出かけ、価格を調査して必要な予算を算出するというフィールドワーク形式で行いました。 
2023年10月20日	特定非営利活動法人 消費生活相談員の会さが 【くらしに役立つ消費生活講座(ネット社会の基本のき)】	毎年、高齢者を対象に消費生活相談で寄せられる「毎日のくらしを豊かに過ごすために」をテーマに講座を県内で開催。スマートフォンやインターネットに関連したトラブル被害の事例、その対応策を説明。団体は安全で安心な生活を過ごせるようなIT社会を目指して活動しています。 講座前半はネット社会の新手の詐欺(投資・暗号資産・SNS・ロマンス)の手口やネットショッピングでのトラブルについて、後半では佐賀県内における詐欺の傾向やこの一年間で詐欺被害が急増している事について注意喚起をしました。 

2023年度 金融相談等活動助成事業【活動紹介】

活動実施日	団体名 【活動名】	活動内容及び活動模様
2023年10月22日	特定非営利活動法人 ピュアコスモ 【発達障害のある子どもの金銭 管理と暮らし】	発達障害(自閉スペクトラム症)の子どもを持つ保護者・支援者向けの講座で、知的レベルは問題はないけれど通常の生活に制限がある本人を金銭管理面でいかにサポートできるかという観点で活動をしています。 「親なきあと」の課題として、お金で困らないための準備をどうするか、障害基礎年金、遺言、社会福祉法人等による法人後見人、福祉サービス利用援助事業、グループホームなどについて説明し、本人がお金に困らないために、そのお金が本人の将来のために使われる仕組みを準備することが大切であると講演しました。 
2023年10月28日	特定非営利活動法人 市民後見センターはままつ 【障がいのある子の「親なきあと」対策】	次女がダウン症であることから「親なきあと」の問題に関心を持ち、「親なきあと」相談室関西ネットワークの代表理事を務めている講師が自身の経験に基づいた講演をしました。 障がいを持つ子の家族を対象に、将来何も対策をせず①父親が認知症になった場合、②父親が死亡した場合、③母親が認知症になった場合、④母親が死亡した場合など、様々なケースを紹介し、「親なきあと」には、公正証書遺言が必須であること、法定後見(申立)の場合、家庭裁判所が後見人を選任するが、親族がなれるとは限らないなど、どのような対策をとる必要があるのかを説明しました。 

2023年度 金融相談等活動助成事業【活動紹介】

活動実施日	団体名 【活動名】	活動内容及び活動模様
2023年11月 9日	特定非営利活動法人 暮らしとお金のPro-Lab 【知的障害のある人たちとその支援者のための金銭教育と金銭管理支援】	今回は障がいを持つ方の保護者に向けた信託関連に特化したセミナーで、支援を必要としている人々と支援者に対して、一般的な信託については一般社団法人信託協会から、家族向け信託についてはファイナンシャルプランナーから説明がありました。信託については、仕組みや業務の担い手、取り扱っている窓口・信託銀行の業務や商品、その他にも特定贈与信託や後見制度支援信託、遺言制度と遺言信託、遺言代用信託、生命保険信託など様々な信託を紹介。家族信託については、管理・処分・承継する財産管理手法、契約、そしてリスクなどについて解説しました。 
2023年11月18日	一般社団法人 みえ障害者の親なきあと相談室 【障がいのある子の生活にかかわるお金の使いかた勉強会「ロールプレイニング」】	障がい者本人向けのロールプレイニングは、2023年度からの活動で、事前に特別支援学校との調整が行われ、参加予定者全員が参加しました。 1 生活に必要なお金はいくらか 2 お金の上手な使い方<ロープレイング> 3 今からできること・注意すること 上記の過程を行うことにより、お金の感覚や計画的な使用方法や見えないお金(カードやPayPayなど)は便利だけと使いすぎに注意すること、夢の実現のためにも貯金は大切であること、困ったときは消費生活センター消費者ホットラインへ連絡することを学びました。  

2023年度 金融相談等活動助成事業【活動紹介】

活動実施日	団体名 【活動名】	活動内容及び活動模様
2023年12月 1日	NPO法人 しよーとてんぱー 【知的・発達障害の子どもの親のメンタルケア④(住まいの種類と費用を学ぶ)】	知的・発達障害の子を持つ親を対象としたセミナーで、障がいのある人の住まいについて二人の講師が講演をしました。 障害者権利条約における「住まい」の規定から、「地域社会で生活する平等の権利」「特定の生活施設で生活する義務を負わない」「地域社会支援サービスを障害者が利用する機会を有する」を説明して、参加者の年齢層も幅広く、自身の介護等も想定したうえでの講義内容で、住まいというテーマはなかなか取り上げないため、講師の経験や最新の情報を提供するなど興味深い内容でした。 
2023年12月 3日	NPO法人 G-FRONT関西 【性的マイノリティの立場から提唱する新しい福祉の形とは ～グラデーション&インクルージョン～】	性的マイノリティ当事者およびその活動に関心持つ人々(老後の福祉や生計を意識し始める40～50歳代)を想定とした講座で、「福祉＋アート＋小商い」を融合した複合福祉拠点の運営事例を紹介しながら、性的マイノリティ等のカテゴリーにこだわらず福祉活動をすることで、社会や経済に積極的に参加できることを説明していました。 団体では、性の多様性を尊重するための活動を長期的・継続的に行っており、団体の働きかけによって、大阪府の「人権尊重の社会づくり条例」に性的マイノリティに関する文書が追加されました。 

2023年度 金融相談等活動助成事業【活動紹介】

活動実施日	団体名 【活動名】	活動内容及び活動模様
2023年12月 8日	公益財団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 【障害者向けのお金の使い方と消費者問題についての講義】	障がい者の方たちに身近な買い物からお金の使い方を理解してもらい、インターネット被害についての対応も学べる講義となりました。 自分でお金を使い商品を選び、商品名や値段の感覚、自販機とスーパーでの値段の相違、毎月の購入総費用、衣料品・果物等季節感により価格が変動することを学びます。ロールプレイングで現金、プリペイドカード、スマホ決済、クレジットカード決済による商品の購入を通じて、見えるお金、見えないお金、後払いのお金(借金)の性質を理解し、困ったときは、消費者ホットライン「188」の利用についても学びました。中度・重度の障害者向けの講座で、少人数ということもあり反応を確認しながら進められました。 
2023年12月16日	NPO法人 ASIAN COMMUNITY TAKASHIMADAIRA 【団地の高齢者・子ども・外国籍住民対象金融基礎知識連続講座】	講座の内容は、外国籍の子どもたちが日本で生活するうえで必要となる最低限のお金に関する知識を習得する講座です。 今回は、カレー作りをテーマとして、食材の選定及び金額(仮想通貨)の計算をして身近なお金の使い方を学びました。それだけではなく食材の栄養素についても学習しました。身近なモノについて、お金が必要なモノ・無料サービス、必要なモノと我慢できるモノに分類して買い物感覚を習得しました。電子マネー、PayPay等のリスクについて説明を行いました。 

2023年度 金融相談等活動助成事業【活動紹介】

活動実施日	団体名 【活動名】	活動内容及び活動模様
2024年 2月24日	一般社団法人 秋田市手をつなぐ育成会 【成年後見支援スタッフセミナー ⑥】	講師自身の行政書士としての経験談を交えながら、「相続の基本と遺言書・成年後見制度と家族信託」をテーマに、相続には単純承認、相続放棄があること、遺産分割の方法や相続人の定義など相続の基本と、遺言の種類、死亡後の手続きを遺言書を中心に説明し、家族信託について仕組み（委託者・受託者・受益者）や遺言の代わりに活用可能であったり、成年後見よりも柔軟な財産活用が可能であることなどを説明し、家族信託の手続き（公正証書の作成）の説明も行われました。 
2024年 3月 3日	NPO法人 いわきFP・eーらいふ 【夢スクール＆相談会】	健常者の生徒を対象にお金に関する基礎知識を学んでもらい、友達と相談しながら食材を購入し、自ら調理、盛り付けをしてプレゼンにより評価を得て、投票数×設定金額＝収益として価格設定の重要性をお知らせしました。具体的には、ちらしずしの調理を通して、食材の購入、予算管理、調理（盛り付け）、価格設定、販売のためのプレゼン、投票（購入）という販売行動に関しお金に関する知識を楽しみながら学び、また、収益に関して自チームの評価を行い、価格設定、プレゼンの重要性を知ることができました。 